

【Q1】候補者のすすめたい政策をお聞かせください

【空き家対策】

日本は人口減少の時代に突入しており、市街地の空き家がどんどん増えているのに、郊外の田畑を造成して新たな宅地を作っています。このままますます人口が減れば、新しく造成した宅地も数十年後には空き家になります。なぜ空き家が多くなってる市街地を整理して、若い世代が住めるようにしないのでしょうか。土地や家屋の権利関係の整理が面倒くさいから、安易に田畑を宅地化しているのではないのでしょうか。田畑が無くなれば、国内で食を作ることができなくなってしまいます。空き家がある地域に人が好んで住むようになれば、安易な宅地造成が減り、田畑が田畑として残ります。また、市街地の空き家を整理して若い世代が住むようになれば、お年寄りから若者まで同一地域で暮らせるようになり、お年寄りと子供たちとの関わりが増えます。その関りは子供の成長に、教育にプラスになると私は考えます。

【Q2】候補者から見る燕市、市政の課題、問題点についての考えをお聞かせください
これから先も豊かな暮らしを守っていくために燕市独自の新しい産業の創出が必要だと考えています。日本政府が推進する電気自動車によって日本の基幹産業である自動車産業が危機的な状況です。自動車産業が没落すれば日本経済全体が衰退していきます。そういった未来も見据え、他の市や県外企業とも連携し、燕市の金属加工産業を更に発展させて世界に存在感を示していく必要があると考えます。

【Q3】候補者から見る燕市の素晴らしい所をお聞かせください

老若男女、地元民でない人も別け隔てなく受け入れてくれる温かい人が多いと感じています。私の出身は新潟市(旧巻町)ですが、燕市の本町で空き家を活用してコワーキングスペースを運営しております。空き家の持ち主の方に、有効活用するので空き家を貸してもらえないかと直接交渉に行った際「いいよ！どうせ使わないんだからタダで使っていいよ」とおっしゃってくれました。タダで利用するわけにはいかないのだから家賃はお支払いしています。「燕の人間は太っ腹。懐が深くてドーンと構えてる人が多い」そんな風に私にお話ししてくれました。その他にも、野菜のおすそ分けを受けたり、何気ない世間話をしてくれたり、私はこの町の人々の温かさを特に素晴らしいと感じています。

【Q4】候補者から見る国政を含む世界情勢についての考察をお聞かせください

円安は更に進み、エネルギーや材料、食料など、産業、生活に必要な物資のほとんどを輸入に依存している日本は来年以降、経済的にますます厳しくなると予想しています。食料についてもロシア・ウクライナ問題、アメリカ・中国の深刻な干ばつ、インドを

襲う熱波など、来年度以降、世界的な食料不足が懸念されており、備えが必要だと考えています。むやみやたらに危機を煽ることは問題ですが、上記以外にも、こういった重要な情報が一般の方々に全く共有されていないことに危機感を感じています。